

お願い

下記の場合において回転数に誤差が生じます。あらかじめご了承ください。

- 基準回転数において±10%程度の範囲で誤差が発生します。
- 電圧変動。
- 羽根の重量バラツキ。
- 室温の変化。(※基準回転数は室温25°Cにて測定)

DAIKO 照明器具 保証書

保証とアフターサービス

お名前 お客様		販売店名・住所・電話番号
ご住所		
お電話()		
お買い上げ日	保証期間(お買い上げ日より)	
器具本体 1ヵ年・安定器 3ヵ年		

*お客様へのお願い 本書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。
本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

本書は、本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。

1. 保証について
取扱説明書、本体表示ラベル等の注意書に従った正常なご使用状態で上記の保証期間中に故障した場合には、商品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。尚、ランプ、グローポンチ管、電池等の消耗品は対象外といたします。
お買い上げの販売店に修理をご依頼にならない場合には、お近くの大光電機お客様相談窓口にご連絡ください。
2. 保証期間中の無償修理に該当しない事項について
次の様な場合には、保証期間中でも有償修理になります。
(1) 取扱説明書及び本体表示ラベルと異なる施工による不備及び使用上の誤り、又は不当な修理や改造による故障及び損傷
(2) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
(3) 一般家庭用以外(例えば業務用等)に使用された場合及び車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(4) この商品について出張修理をご希望の場合は出張に要する実費を申し受けます。
(5) 日本国外以外での使用による故障及び損傷 This warranty valid only in Japan
(6) 本書及び領収書のご提示のない場合
(7) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、字句を書き替えられた場合
3. ご転居の場合について
ご転居の場合の修理ご依頼先はお買い上げの販売店又はお近くの大光電機お客様相談窓口にご連絡ください。
4. ご贈答品の場合について
ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無償修理をお受けになれない場合には、お近くの大光電機お客様相談窓口にご連絡ください。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は大光電機お客様相談窓口にお問い合わせください。その際は器具の型番、器具の症状、お買い上げ時期をお知らせください。

お客様にご記入いただきました保証書は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

商品の取扱いについてのご相談窓口(CSセンター大阪)

(0570)003-937(ナビダイヤル)

受付時間(月~土)9:00~17:00

日曜・祝祭日は受付しておりません

点検とお手入れ方法

1. 明るく安全に使用するために6ヵ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

(1)点検項目

- ・ランプが切れていませんか。
- ・正常に点灯しますか。
- ・スイッチは正常に切替りますか。
- ・天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
- ・可動部は異常に動作しますか。
- ・異常な臭い、音、発熱はありませんか。
- ・ガラス、プラスチック部品等に、ひび、割れ、変形等が発生していませんか。

(2)清掃 器具やランプにホコリがつくと、明るさを損なうばかりか、器具自身の寿命を短くします。

清掃箇所	清掃方法
金属メッキ処理 金属塗装処理	傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1~2回軽く拭いてください。
アクリル プラスチック	薄めた中性洗剤を使用し、洗剤が残らないようによく水洗いしてそのまま乾かしてください。 乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。(但し、金属部は除く)
木・竹・籐 布・和紙	こまめにハタキや柔らかいハケ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかな布で軽く拭いてください。
ガラス	中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用したのち水洗いし、自然乾燥してください。 消しグローブは素手でさわると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。

※ガソリン、シンナー、みがき粉、サンドペーパー、たわし等は使用しないでください。

2. 異常時の処置

異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または当社「CSセンター」までお申し出ください。
(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)



取扱説明書

保存用

品番 AS-564

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お客様へ

- ご使用の前に安全上の注意と取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 本説明書は大切に保管してください。

安全上の注意

警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定されます。

禁止	器具の直下や近くでは、火気等を使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。 	禁止	運転中は羽根に触れないでください。落下・けが・破損・故障の原因となります。
禁止	周囲温度5~35°C以外では使用しないでください。火災の原因となります。	水ぬれ禁止	水をかけたり、ぬらさないでください。火災・感電の原因となります。
禁止	器具にその他の荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。火災・感電・落下の原因となります。	厳守	お手入の際は、必ずブレーカーを切ってから作業してください。電源を切らないで作業を行うと、不意に作動しけがをしたり、感電の原因となります。
分解禁止	器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災・感電・落下・転倒等の原因となります。 	!	煙・臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または当社「CSセンター」にご相談ください。

注意

取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定されます。

厳守	電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。	注意	リモコンを落としたり、踏まないでください。故障の原因となります。
注意	照明器具の取り替え時期の目安は、通常の使用状態(周囲温度30°C、一日10時間点灯)において、約8~10年です。各種部品の劣化も進みますので、交換をおすすめします。	注意	調光器を使用しないでください。故障の原因となります。

大光電機株式会社

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7 高麗橋ビル6F

仕様

- 屋内天井取付専用器具です。
- 器具にはガラスを使用しております。取扱いは丁寧に行ってください。
- 簡易取付式です。
- リモコン(プルレス)スイッチ対応です。

- 適合ランプ以外の使用はできません。
- 傾斜天井には取付けできません。
- 調光器との併用はできません。
- 加熱防止機能付き。

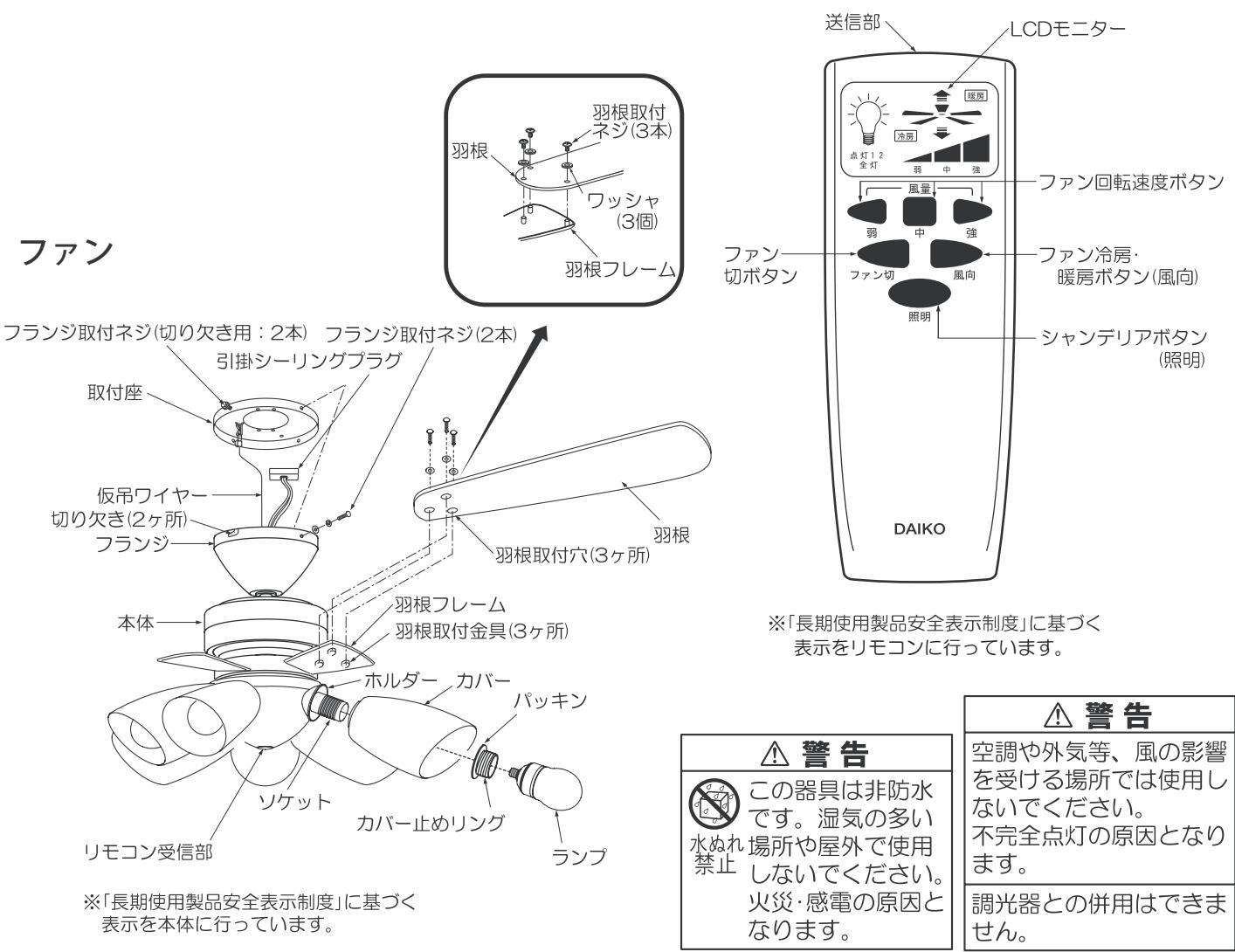
AS-564

品番	AS-564	
定格電圧	交流 100V	
周波数	50Hz	60Hz
消費電力	ファン 17.5W 照明 最大78W	
入力電流	ファン 0.19A 照明 最大1.38A	
適合ランプ	電球形蛍光灯 A形 電球色 EFA15EL × 6灯 E17	
器具重量	約6.8kg	
電源接続	引掛シーリング	

各部の名称

※下図は、簡略した図です。

リモコン [適合電池：単三形(LR6)×2個]



長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

●本体への表示内容

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を本体に行っています。

【製造年】本体に西暦4桁で表示しております。



【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

●設計上の標準使用期間とは

※運転時間や温度・湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。

標準使用条件 日本工業規格JIS C9921-1:2009による

大項目	中項目	小項目	備考
環境条件	電圧	単相 100V	製品の定格電圧による
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	30°C	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	施工説明書・取扱説明書による
負荷条件		定格負荷(風速)	取扱説明書による
想定時間など	天井扇 運転時間 運転回数 運転日数 スイッチ操作回数 首振運転の割合	10h/日 5回/日 180日/年 900回/年 規定しない	

注記 環境条件の湿度65%は、JISZ8703の試験状態を参考としています。

「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置にともない生じる劣化をいいます。

※上記の「長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示」は、電気用品安全法の改正に基づき、2009年4月以降生産の製品に記載しています。

ご使用上のご注意

- 電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- インバータ器具の近くで、ほかの光高周波方式リモコン器具を使用しないでください。誤動作の原因となります。
- インバータ器具の近くで、室内アンテナ使用のテレビやラジオを使用した場合、画像の乱れや雑音などが発生することがあります。
- 冬等の周囲温度が低い場合、明るくなるまでに時間が掛かったり、ちらつきが発生することがありますが、異常ではありません。
- 器具に殺虫剤等をかけないでください。カバー、グローブ等の落下・変質・変色の原因となります。
- ランプの取扱いは、交換ランプのケース表示に従い正しく行ってください。
- 万一羽根が破損した場合、全部交換してください。横ゆれ振動の原因となります。
- リモコンにショックを与えた場合、液体をかけないでください。故障の原因となります。

⑥ 故障かな!?

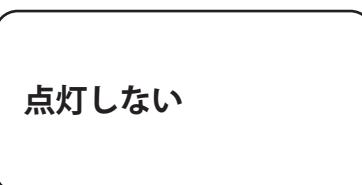
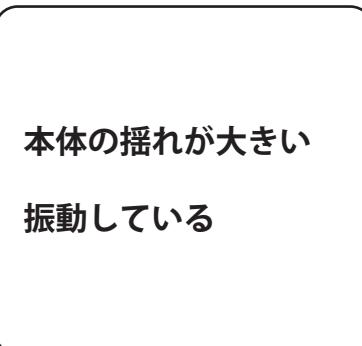
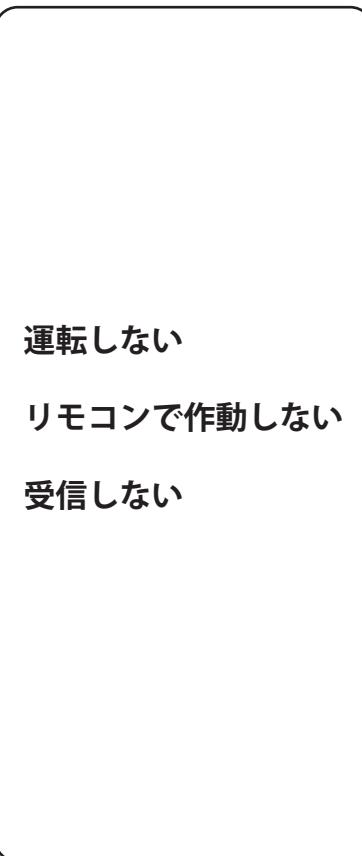
ちょっとお調べください。

調べてみれば、それはとりこし苦労かも。あわてて修理を依頼するまえに、一度確かめてみてください。

こんなとき

ちょっとお調べください／処置

参考
ページ



●リモコンの電池切れではありませんか。 →リモコンのいずれかのボタンを押して動作しないときは、新しい乾電池と交換する。	5
●衣類や家具などで受信部をかくしていませんか。	—
●リモコン乾電池の \oplus/\ominus が逆になっていませんか。	5

●受信部の近くにガラスや壁の遮へい物があり、送信の影になっていますか。	
●ネットやガラスなど、光を減衰、または反射するものがありますか。	
●受信部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていますか。	
→①ブレーカーを「切」にする。 ②羽根の回転を妨げるものがいないか確認する。 ③再度ブレーカーを「入」にする。 ④リモコン操作を行う。	3

それでも直らないときは、
すぐにブレーカーを「切」にして、工事店、お買い上げの販売店または当社「CSセンター」に修理を依頼してください。天井取付部や本体内部に異常がある恐れがあります。

●羽根が破損していませんか。 ①ブレーカーを「切」にする。 ②羽根破損していないか確認し、破損している場合は、お買い上げの販売店に依頼し羽根を取り換えてください。	—
それでも直らないときは、 お買い上げの販売店、電気工事店又は当社「CSセンター」にお申し出ください。	

●ランプがゆるんでいませんか。 →ゆるんでないか確認し、それでも点灯しないときは、新しいランプと交換する。	5
●ランプが切れていませんか？	

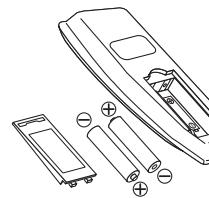
① お使いになるまえに

- リモコンの準備をする。(すでに取付けられている場合は次にうつる。)
リモコンに乾電池を入れる。(※付属の乾電池は動作確認用です。)

1 裏側のフタを手前に引き上げて取外す。



2 電池は、単三形(LR6)2個を極性を合わせて入れる。

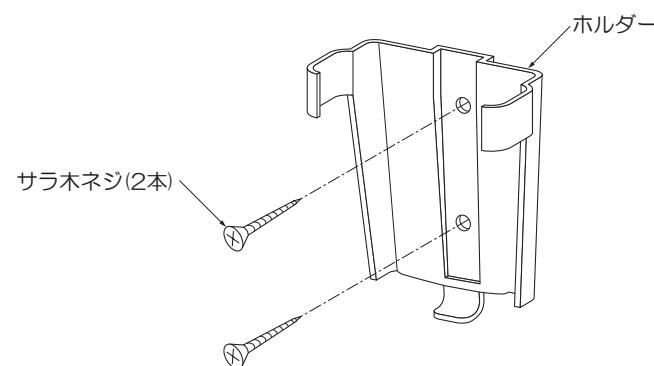


3 カチッと音がするまでフタを押し込む。



●リモコンホルダーを取付ける

リモコンホルダーをサラ木ネジ(2本:M3×25mm)で壁面の補強材のある位置に取付けてください。



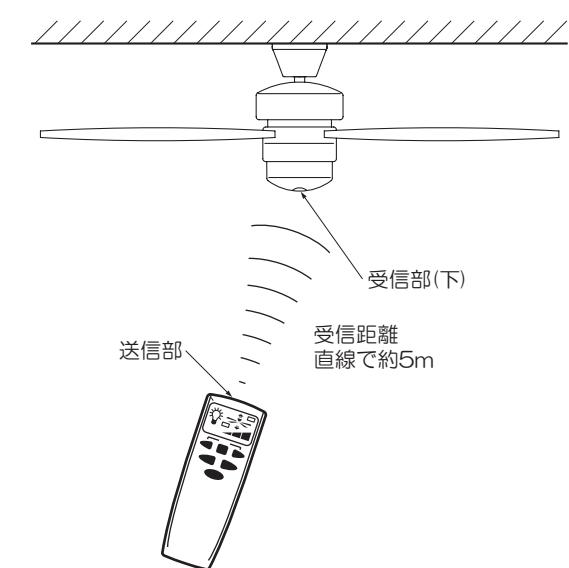
●リモコンの受信範囲

- ・リモコンは受信部に向かって操作してください。
- ・受信距離は直線で約5mです。

⚠ 警告	
!	次のような場所では使わないでください。 故障の原因となります。
厳守	<ul style="list-style-type: none"> ●高温(常時35°C以上)なところ ●多湿(風呂場等)なところ ●水のかかるところ ●薬品、油、ホコリの多いところ
	調光器との併用はできません。

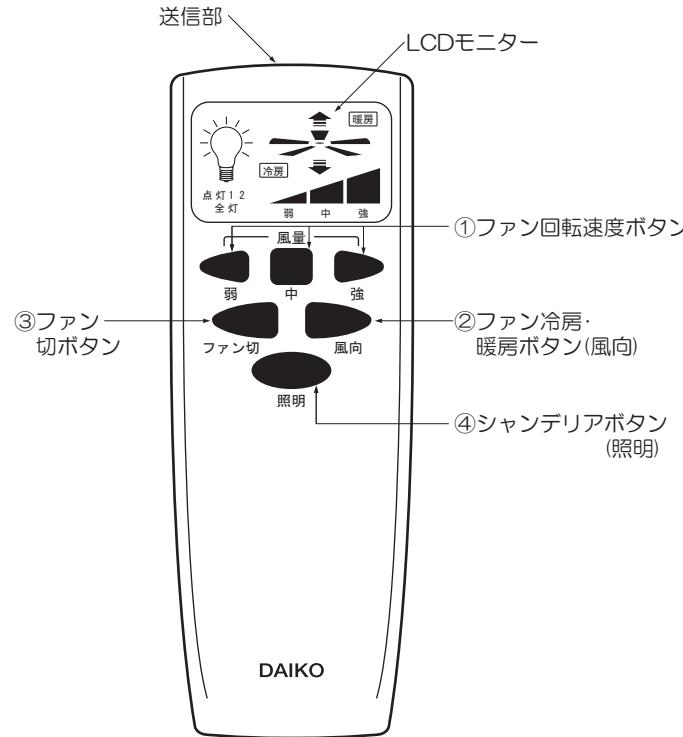
※受信部はリモコン信号(赤外線)を直接受信します、以下のような所で使用しますと、信号が遮断されたり受信できない場合があります。

- ・受信部の近くにガラスや壁の遮へい物があり、送信の影になるところ。
- ・ネットやガラスなど、光を減衰、または反射するものがあるところ。



2 操作方法

<各部の名称>



<リモコン操作方法>

※必ず電源(壁)スイッチをONの状態で操作してください。

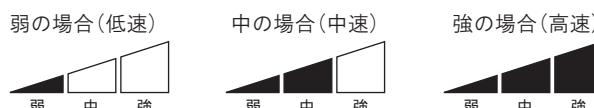
※調光機能付の壁スイッチでは使用できません。

①. ファン回転速度ボタン(弱 中 強)

- ファンを回転(ON)させます。
- ファンの回転速度を調整します。

強、中、弱ボタンを押すとファンの回転速度が高速、中速、低速と速くなったり、遅くなったりします。

LCDモニターにも回転速度に合わせてレベルを表示します。



注) ファンが停止(OFF)しているときに、ファン回転速度ボタンでファンを回転させた場合、ファンの回転方向は、ファン停止前の回転方向でります。(動作を記憶しています。)

②. ファン冷房・暖房ボタン(風向)

- ファンの風向きの変更を行います。

ボタンを押すと冷房→暖房の順で切り替わります。(このボタンは、ファンが回転中のみ有効です。) LCDモニターに風向きが表示されます。

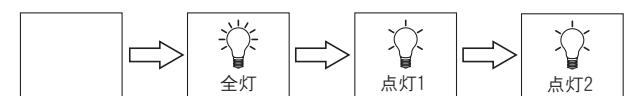


③. ファン切ボタン

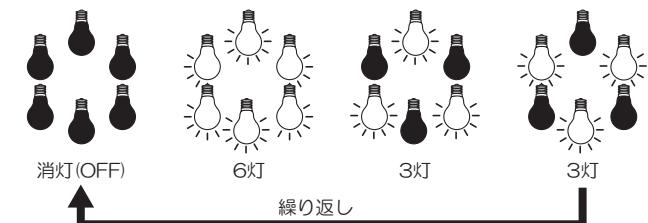
- ファンを停止(OFF)します。LCDモニターには何も表示されません。

④. シャンデリアボタン(照明)

- シャンデリアの点灯切り替えを行います。ボタンを一度押すと全灯します。もう一度押すと点灯1のパターンで点灯し、さらに押すと点灯2のパターンで点灯します。さらにボタンを押すと消灯します。この動作を繰り返します。

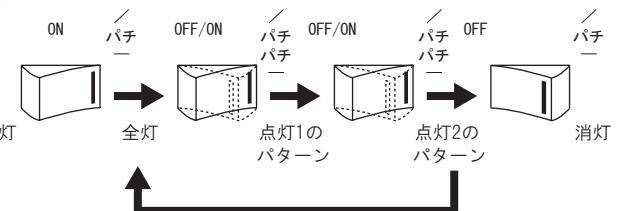


(6灯の場合)



<壁スイッチ操作方法>

照明器具(シャンデリア)は、壁スイッチでも制御することができます。壁スイッチをOFF(消灯)した後、2秒以内に再度ON(点灯)すると点灯状態が順に切り替わります。



注) ファンが動作している状態で上記方法にて点灯状態を切り替えた場合ファンは停止します。ファンを再起動するにはリモコンで操作してください。

3 お手入方法



必ずブレーカーを切ってから作業してください。
不意に作動してけがをしたり、感電の原因となります。

ぬるま湯又は薄めた台所用中性洗剤を浸した柔らかい布を、かたくしぼって汚れをふき取り、その後からぶきをしてください。



羽根に強い力を加えたりして、羽根を変形させないでください。
ファンの横ゆれ、振動の原因となります。

みがき粉、シンナー、ベンジン、アルコール、アルカリ洗剤等は使用しないでください。
ファンの変形・変色の原因となります。

※その他の清掃用具をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

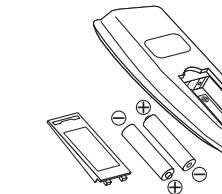
4 電池交換方法【適合電池 単三形(LR6)×2個】

●リモコン操作できない又は操作できる距離が短くなってきたら電池交換をしてください。

1 裏側のフタを手前に引き上げて取外す。



2 電池は、単三形(LR6)2個を極性を合わせて入れる。



3 カチッと音がするまでフタを押し込む。



△警告

- 電池の $\oplus\ominus$ の向きを正しく確認し、接続してください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。

- 電池を加熱・分解・ショートさせないでください。
- 電池を火の中に投入しないでください。
- 充電式電池を使用しないでください。
- 長期間ご使用にならないときは、電池を取出してください。

5 ランプ交換方法



必ずブレーカーを切ってから作業してください。
不意に作動してけがをしたり、感電の原因となります。



必ずブレーカーを切り、器具とランプが冷めてから交換してください。感電・やけどの原因となります。

- ちらついたり、つかなくなったランプ(寿命で切れたもの等)は、すみやかに下記の手順で交換してください。

- ランプをソケットから取外してください。

- 適合ランプをソケットに、最後まで確実にねじ込んでください。

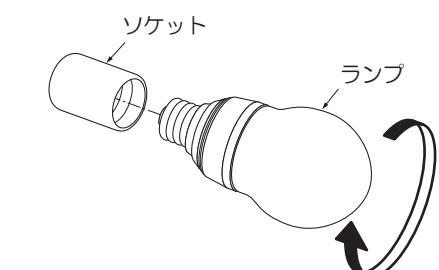
△警告

ランプは必ず器具表示のものを使用してください。表示以外のランプを使用すると火災の原因となります。

ランプの取付けが不完全な場合、落下・不点・接触不良の原因となります。

△注意

点灯中や消灯直後はランプが高温になっていますのでさわらないでください。やけどの原因となります。



※適合ランプ以外の使用はできません。

品番 AS-564

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

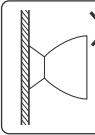
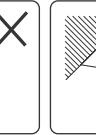
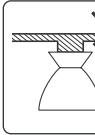
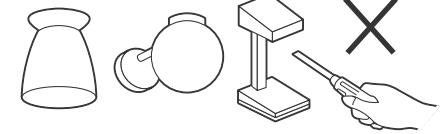
工事店様へ

- 施工前に施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

⚠ 警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定されます。

 厳守	この器具は天井取付専用器具です。指定場所以外には取付けないでください。火災・落下の原因となります。  壁面  傾斜天井  不安定な場所  補強のない天井	 禁止	器具にその他の荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。火災・感電・落下の原因となります。
 厳守	器具本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。	 分解禁止	器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災・感電・落下・転倒等の原因となります。 
 禁止	周囲温度5~35°C以外では使用しないでください。火災の原因となります。	 厳守	電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている定格電圧でご使用ください。過電圧を加えるとランプ寿命が短くなるほか、部品が過熱し火災・感電の原因となります。
 禁止	器具の直下や近くでは、火気等を使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。  ストーブ	 厳守	煙・臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または当社「CSセンター」にご相談ください。 

⚠ 注意

取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか
物的損害の発生が想定されます。

 厳守	電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
 注意	照明器具の取り替え時期の目安は、通常の使用状態(周囲温度30°C、一日10時間点灯)において、約8~10年です。各種部品の劣化も進みますので、交換をおすすめします。 点検は、本説明書に従ってお願いします。(3~5年に1度は販売店・工事店の点検をおすすめします。)

仕様

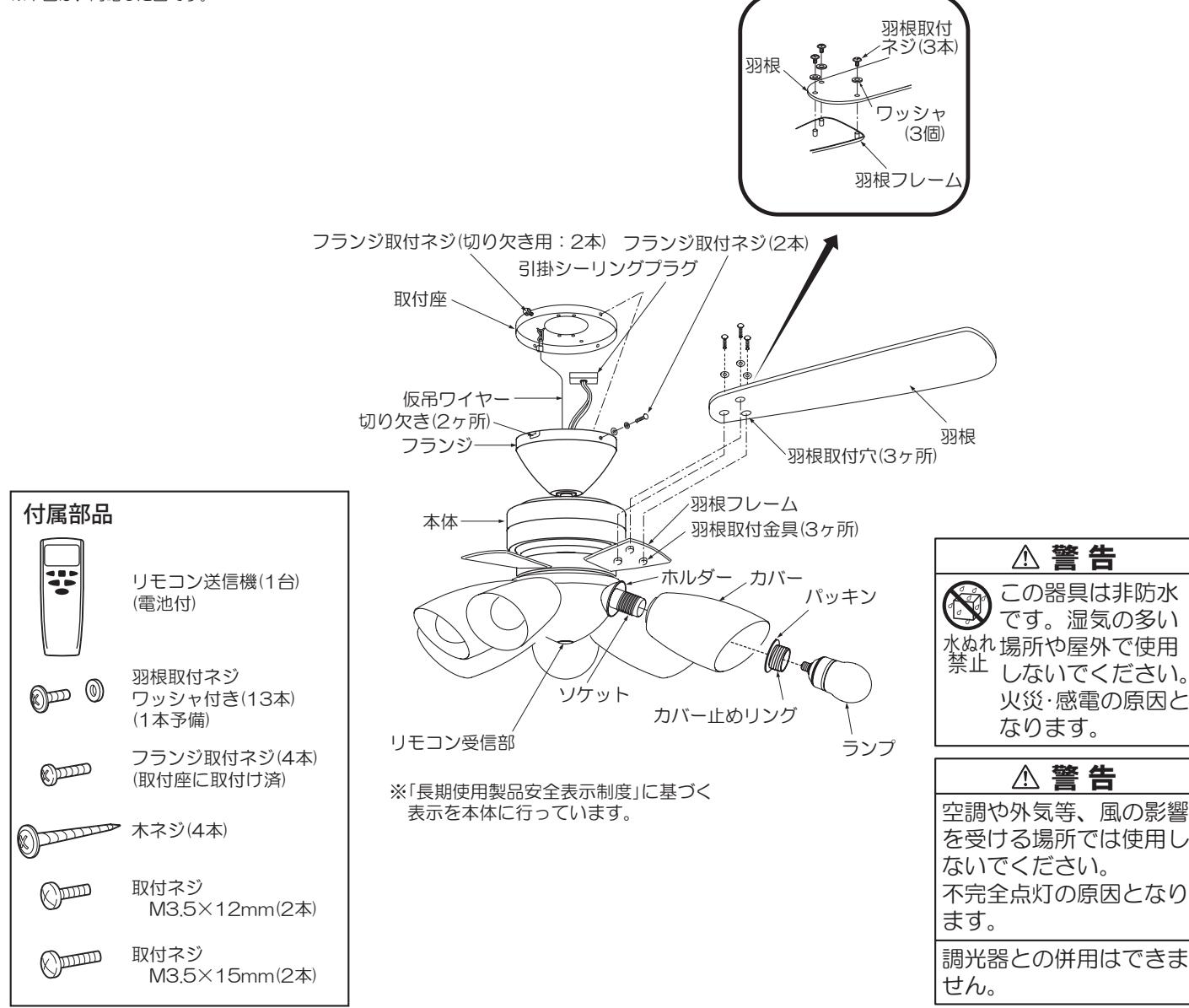
- 屋内天井取付専用器具です。
- 器具にはガラスを使用しております。取扱いは丁寧に行ってください。
- 簡易取付式です。
- リモコン(プルレス)スイッチ対応です。

- 適合ランプ以外の使用はできません。
- 傾斜天井には取付けできません。
- 調光器との併用はできません。
- 加熱防止機能付き。

品番	AS-564	
定格電圧	交流 100V	
周波数	50Hz	60Hz
	17.5W	19.7W
消費電力	照明 最大78W	
	ファン	
入力電流	0.19A	0.24A
	照明 最大1.38A	
適合ランプ	電球形蛍光灯 A形 電球色 EFA15EL × 6灯 E17	
器具重量	約6.8kg	
電源接続	引掛シーリング	

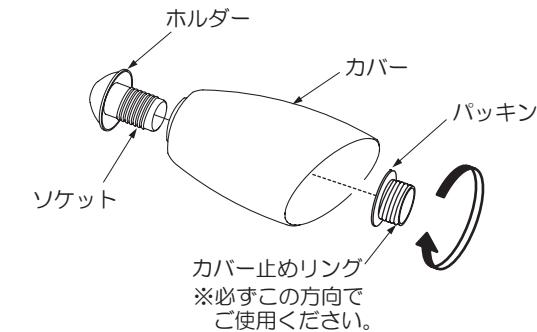
各部の名称

※下図は、簡略した図です。



⑧ カバーを取付ける

- カバー止めリングは、ソケットにセットされています。取外してご使用ください。
- 以下の点を確認のうえ作業してください。
 - ・カバー止めリングにパッキンが付いているか。
 - ・カバーにひび・割れ・欠け等の異常がないか。
- カバーをホルダーにセットし、カバー止めリングで確実に締め付け固定してください。

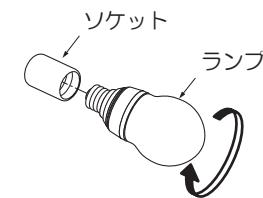


△ 警告

取付が不完全な場合、落下の原因となります。

⑨ ランプを取付ける

- ランプをソケットに、最後まで確実にねじ込んでください。



△ 警告

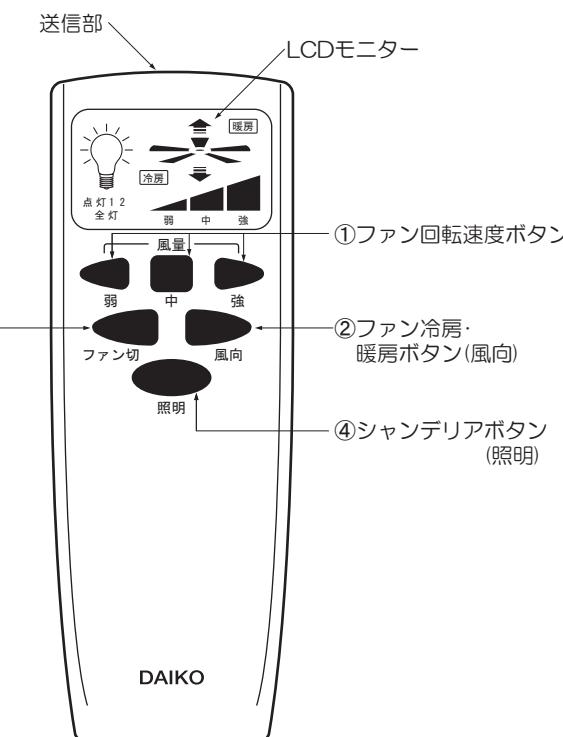
ランプの取付けが不完全な場合、落下・不点・接触不良の原因となります。

※適合ランプ以外の使用はできません。

⑩ 使用前に確認する

- 取付金具と天井面の取付けにガタつきがないか確認してください。
- 横ゆれや振動がないか確認してください。
- リモコン操作と本体の動作は正常か確認してください。

※取扱説明書、4ページ②操作方法を参照願います。



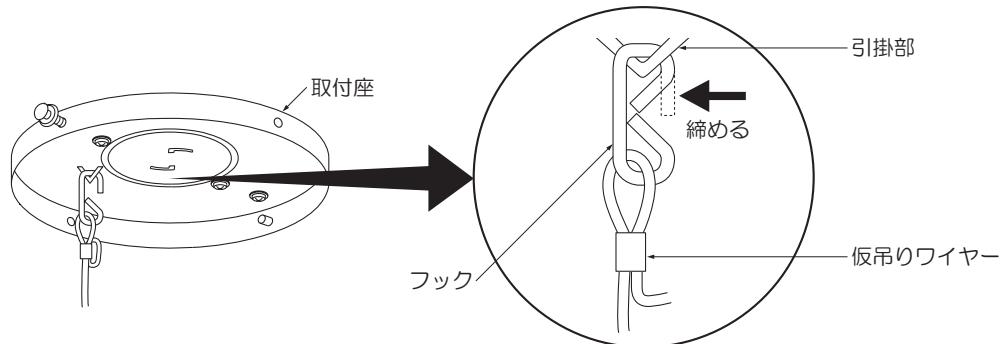
6 電源を接続する



必ずブレーカーを切ってから作業してください。
不意に作動してけがをしたり、感電の原因になります。

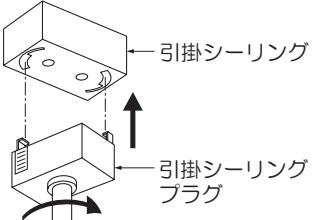
羽根を持って作業しないでください。
変形してゆれたり回転不良の原因となります。

- 仮吊りワイヤーのフックを取付座の引掛部に取付け後、フックを確実に締めてください。



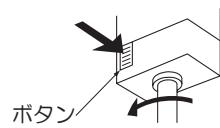
<取付け>

- 差し込み、カチッと音がするまで右に回す。
- ボタンを押さずに左に回し、外れないことを確認してください。



<取外し>

- ボタンを押しながら左に回す。



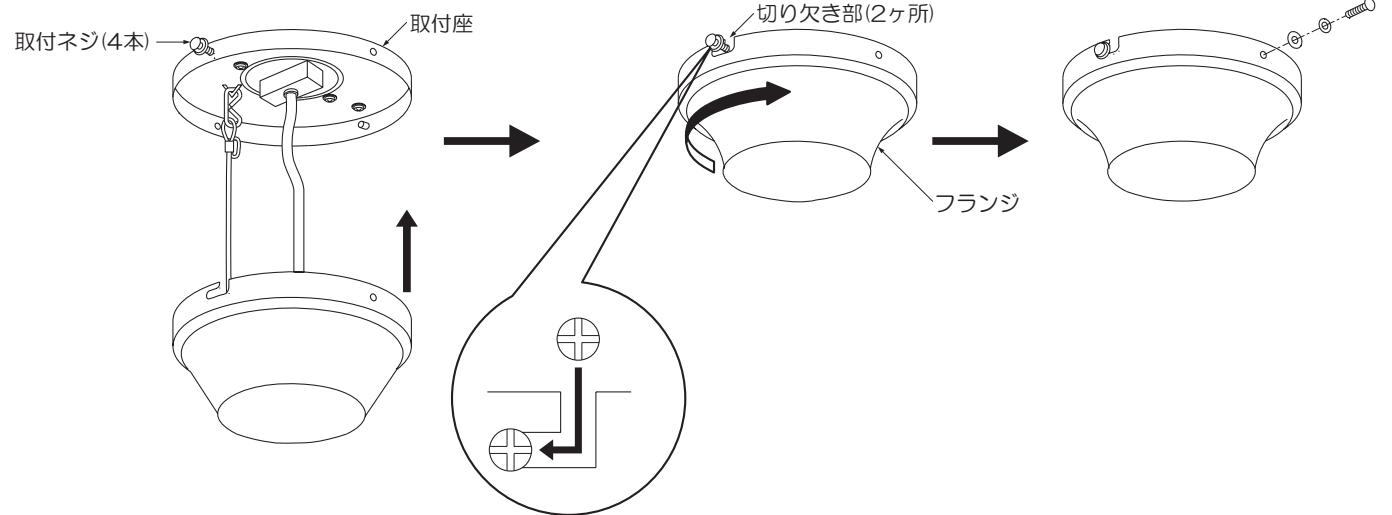
⚠ 警告

取付けが不完全な場合、落下・焼損・不点・接触不良の原因となります。

定格以外の電圧では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

7 フランジを取付ける

- 取付座の4ヶ所の取付ネジのうち、対面の2ヶ所の取付ネジをかるくねじ込んでください。
- 2本の取付ネジにフランジの切り欠き部(2ヶ所)を合わせ、押し上げ右に回し固定してください。
- 残り2本の取付ネジをセットし、確実に締め付け固定してください。合わせて先の2本の取付ネジも同様に作業してください。



⚠ 警告

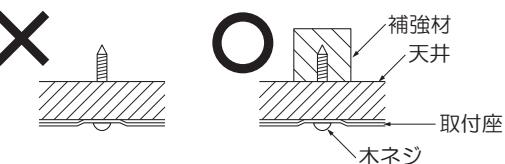
取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

1 施工前に確認する

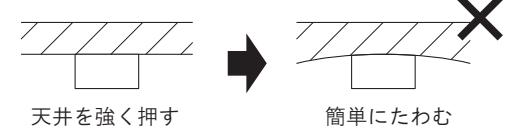
■天井の確認

- 取付面の強度を充分に確認し、あらかじめ補強するか補強材のある位置に取付けてください。
- 変形天井(ななめ天井、舟底天井等)及び下図のような天井には絶対に取付けないでください。
- この器具は平らな天井に取付けてください。壁面等には取付けできません。

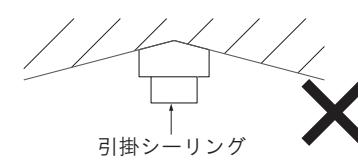
木ネジは補強のある箇所に確実にとめてください。



簡単に天井がたわむ弱い天井(補強材が弱い天井)

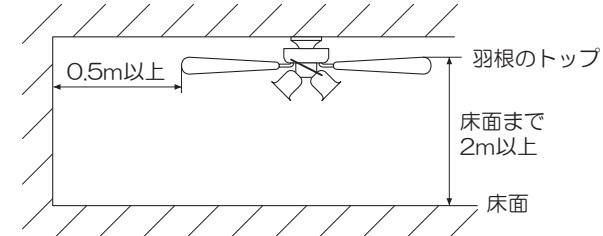


傾斜をあわせた舟底天井



■取付位置の確認

- 器具の取付位置は必ず下図寸法以上を確保し、取付けてください。



注) 傾斜天井には取付けできません。

2 配線器具を確認する

●使用できないもの



●使用できるもの



⚠ 警告

上記のような配線器具には、器具を取付けないでください。
火災・感電・落下の原因となります。
配線器具の交換・取付けは資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。

⚠ 警告

配線器具は充分な強度で取付けられていることを必ず確認してください。火災・感電・落下の原因となります。

3 取付前に準備する

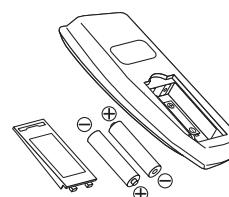
●リモコンの準備をする。

リモコンに乾電池を入れる。(※付属の乾電池は動作確認用です。)

- 裏側のフタを手前に引き上げて取外す。



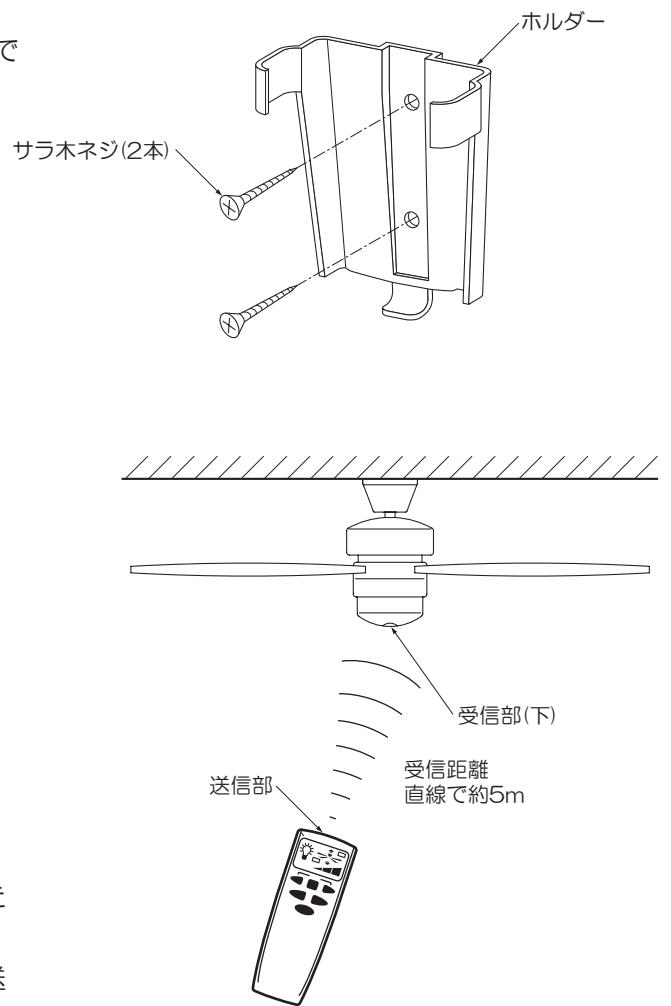
- 電池は、単三形(LR6)2個を極性を合わせて入れる。



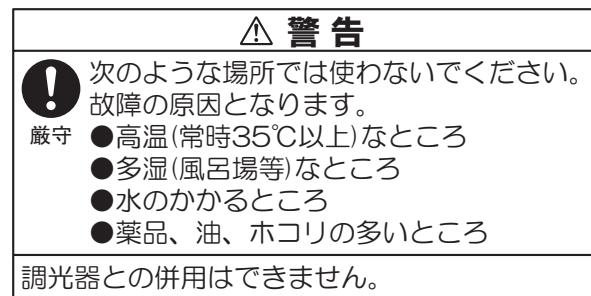
- カチッと音がするまでフタを押し込む。



- リモコンホルダーを取付ける。
リモコンホルダーをサラ木ネジ(2本: M3×25mm)で
壁面の補強材のある位置に取付けてください。



- リモコンの受信範囲
 - ・リモコンは受信部に向かって操作してください。
 - ・受信距離は直線で約5mです。

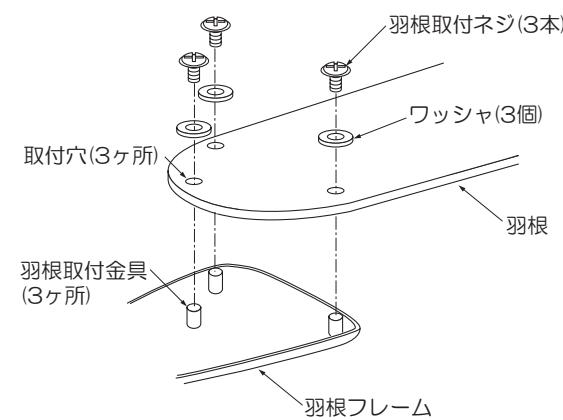


※受信部はリモコン信号(赤外線)を直接受信します。
以下のような所で使用しますと、信号が遮断されたり受信できない場合があります。

- ・受信部の近くにガラスや壁の遮へい物があり、送信の影になるところ。
- ・ネットやガラスなど、光を減衰、または反射するものがあるところ。

4) 羽根を取付ける(床面で作業する方が楽にできます)

- 羽根の仕上げを合わせ、羽根フレームに羽根、ワッシャ(3個)の順でセットし、羽根取付ネジ(3本)で確実に締め付け固定してください。(同様に残りの羽根(3枚)もセットしてください。)

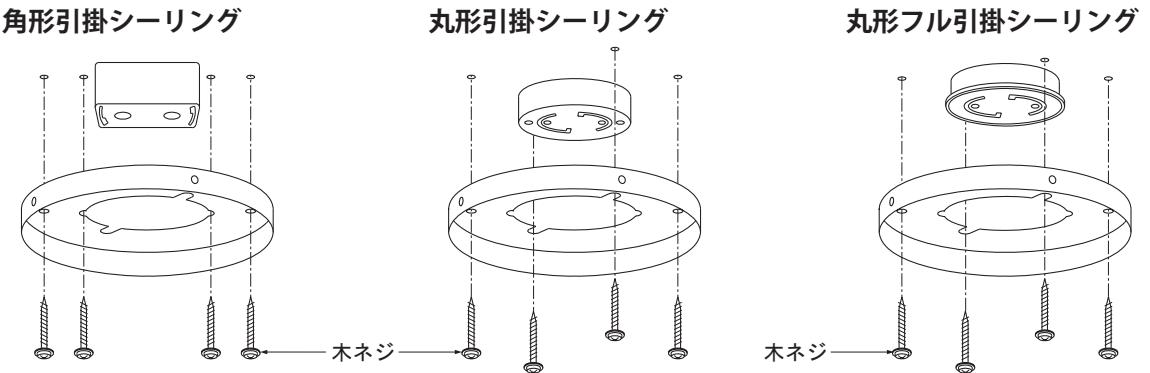


5) 取付座を取付ける

■取付面の強度を充分確認し、重量に耐えうる天井に下記の手順で取付けてください。

<角形(丸形)引掛シーリング・丸形フル引掛シーリングの場合>

- 木ネジ(4本)で天井面の補強された重量に耐えうる位置に取付座を取付けてください。



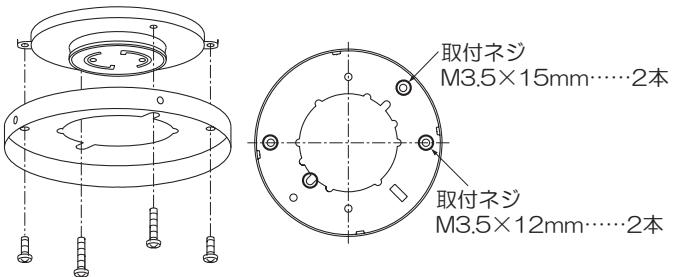
<フル引掛・引掛埋込ローゼットの場合>

- フル引掛・引掛埋込ローゼットのネジ(2本)を外してください。

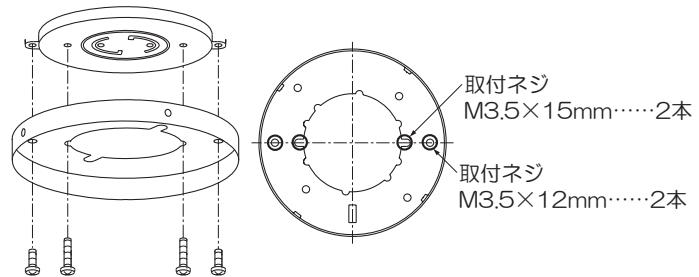
※ローゼットから外したネジ(2本)は取付座の取付けには使用できません。

- フル引掛・引掛埋込ローゼットのネジを外した穴とローゼットの金具のネジ穴(2ヶ所)、計4ヶ所のネジ穴が合うように取付座をセットし、取付ネジM3.5×12mm(2本)・M3.5×15mm(2本)で確実に締め付け固定してください。

フル引掛けローゼット



引掛け埋込ローゼット



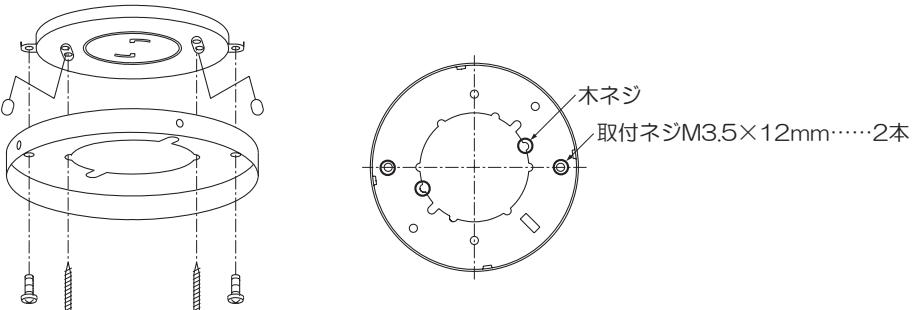
<引掛け露出ローゼットの場合>

- ローゼット取付用木ネジ(2本)を外してください。

※木ネジ穴に化粧シールが貼られている場合は、シールをはがしてから木ネジ(2本)を外してください。

- ローゼットの木ネジを外した穴とローゼットの金具のネジ穴(2ヶ所)、計4ヶ所のネジ穴が合うように取付座をセットし、取付ネジM3.5×12mm(2本)と木ネジ(2本)で確実に締め付け固定してください。

引掛け露出ローゼット



△ 警告

取付けが不完全な場合、落下の原因となります。